

2月20日～後期スタート「気になる古書目案内」

各古書店の特色ある古書販売目録が楽しめます。

千代田図書館では、2月20日から、企画展示「気になる古書目案内」の後期が始まります。“古書目”とは、古書店が発行している通信販売カタログです。20日からは「男子が作った古書販売目録」をテーマに、男性古書店主や店長たちの目録制作にまつわる話や、その現物を紹介します。古書店によってまったく違う個性溢れるデザインや内容をお楽しみください。

※前期(～19日)は「女子が作った古書販売目録」

■古書販売目録とは

古書販売目録は、古書店が個人や大学など顧客に送る通信販売カタログです。一時的な利用を目的とした販売カタログであり、長期間保存されることは少ない性質のものですが、過去に流通した書物やその値段等を知ることができる貴重な資料です。基本的な目録には、分類ごとに書名がリストアップされ、著者や出版社などの基本情報に加えて解説や販売価格等が記されており、目玉商品の写真図版が掲載されているものもあります。古書店の取り扱い分野と同様に、一般古書から和本・錦絵、洋書、漫画、絵本など幅広いジャンルが扱われるのも特徴です。

《古書販売目録検索システム》

千代田図書館が所蔵する古書販売目録は、明治から昭和にかけて発行された目録類を中心とするコレクションです。約9,300点をインターネットで検索することができます。

千代田区立図書館ホームページ／古書販売目録データベース
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/search/kosho.html>

企画展示「気になる古書目案内」【後期】

古書店が発行する通信販売カタログである古書販売目録は、古書のインターネット通販が広がる昨今、発行数が減るばかりです。そんな中、個性的な目録でお客様のハートをつかんでいる古書店もあります。ニッチなセレクト、おしゃれなデザイン、シャープな文章など、話題の古書販売目録を展示し、目録作りにかける古書店主たちの情熱をパネルで紹介します。

後期：2月20日(月)～3月24日(土) (全会期：12月26日～3月24日)

場所：千代田図書館9階＝展示ウォール

主催：千代田図書館 協力：日本古書通信社、東京古書組合

展示数(前期・後期 合計数)：古書販売目録 約60点、関連図書資料 約70点

【後期】男子が作った古書販売目録

- ・『石神井書林古書目録』古書肆石神井書林・内堀弘さん
- ・『書架』えびな書店・蝦名則さん
- ・『徳尾書店古書目録』徳尾書店・高畠裕幸さん
- ・『お喋りカタログ』ほか 中野書店・中野智之さん

【前期】女子が作った古書販売目録／12月26日～2月19日

- ・『妖怪カタログ』大屋書房・瀬瀬久里さん
- ・『第二十世紀都市のエレメンツ』ほか 日月堂・佐藤真砂さん
- ・『古本 海ねこ古書目録』ほか 古本 海ねこ・場生松友子さん
- ・『えぼっく』金井書店・渡辺明子さん

本件お問合せ：千代田図書館 広報担当：坂巻（米村） TEL 03-5211-4288
お客様お問合せ：TEL 03-5211-4289-90／千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 9・10 階